

令和6年度(2024年度) 年間授業計画表											
学年	3	コース	総合進学 特進 特進選抜	選択形態		文系選択		科目	政治・経済	単位	3
学習目標	国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したこととの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養う。										
使用教科書	政治・経済 (数研出版)		副教材				予定時間数	105			
単元と内容											
1学期	第1章 現代の政治 第3節 日本の政治機構 第4節 政治参加と民主政治の課題			3 裁判所のしくみと人権保障 4 地方自治のしくみと住民生活 1 戦後政治と政党 2 選挙制度のしくみ 3 世論と情報化社会							
	第2章 現代の経済 第1節 経済活動の意義と経済体制 第2節 現代経済のしくみ			1 資本主義経済の発展と変容 2 経済活動の主体 1 市場経済のしくみ 2 国民所得と経済成長 3 金融のしくみと働き 4 財政のしくみと租税							
2学期	第3節 日本経済と福祉の向上 第1節 国際政治の動向 第2節 国際経済の動向 第3節 国際社会の課題と日本の役割			1 戦後日本経済のあゆみ 2 中小企業と農業・食料 3 公害防止と環境保全 4 消費者問題と消費者保護 5 労使関係と労働市場 6 少子高齢社会と社会保障 1 国際社会と国際法 2 国際社会の組織化 3 戦後国際政治の展開 1 貿易と国際収支 2 国際経済のしくみ 3 地域主義の動き 1 核兵器の廃絶と軍縮問題 2 地域紛争と人種・民族問題 3 地球環境と資源・エネルギー問題 4 発展途上国の経済と経済協力 5 日本の国際的地位と役割							
3学期											
評価											
評価の観点			評価の趣旨				評価対象				
							1学期末	2学期末	学年末		
①	知識・技能		選択・判断の手掛かりとなる概念や理論、及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解しているとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。				○	○	○		

②	思考力・判断力・表現力	現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論している。	○	○	○
③	主体的に学びに向かう態度	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、人間としての在り方生き方についての自覚や、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深めている。	○	○	○
評価方法	①		②		③
	定期考査 75 % レポート 25 %	定期考査 50 % レポート 20 %	レポート 50 %		

令和5年度(2023年度)年間授業計画表

学年	3	コース	特進・特進選抜	選択形態	文系選択	科目	地歴演習	単位	2
学習目標	日本史探究の学習に並行して、演習を反復することで、インプットした知識や概念を活用して自らの解釈や理解をもとにして解答を導き出すことを目指す。								
使用教科書	詳説日本史探究	副教材	資料集・他				予定時間数	70時間	
単元と内容									
1学期	第IV部 近代・現代			第11章 近世から近代へ 演習問題 第12章 近代国家の成立 演習問題 第13章 近代国家の展開 演習問題 第14章 近代の産業と生活 演習問題					
2学期	第IV部 近代・現代			第15章 恐慌と第二次世界大戦 演習問題 第16章 占領下の日本 演習問題 第17章 高度成長の時代 演習問題 第18章 激動する世界と日本					
3学期									
評価									
評価の観点		評価の趣旨			評価対象				
					1学期末	2学期末	学年末		
①	知識・技能	教科書に登場する重要語句をインプットし、適切な場面でアウトプットできる。			○	○	○		
②	思考力・判断力・表現力	知識を関連付けて自分なりに解釈して説明できる。また、習得した知識と理解した概念を関連付けて、自分の考えを表現することができる。			○	○	○		
③	主体的に学びに向かう態度	難しい問題や論述問題でも、理解しようと努力し、周囲と協力することができる。			○	○	○		
評価方法	① 知識・技能			② 思考力・判断力・表現力			③ 主体的に学びに向かう態度		

	課題 50%	課題 40%	提出物 50%
	試験 50%	試験 40%	相互評価 50%
		グループワーク 20%	

令和5年度(2023年度)年間授業計画表													
学年	3	コース		特進 特進選 抜		選択形態		文系選択		科目	日本史探 究	単位	3
学習目標	社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。												
使用教科書	詳説日本史探究		副教材	資料集・他			予定時間数	105時間					
単元と内容													
1学期	第IV部 近代・現代			第11章 近世から近代へ 1. 開国と幕末の動乱 2. 幕府の滅亡と新政府の発足 第12章 近代国家の成立 1. 明治維新と富国強兵 2. 立憲国家の成立 第13章 近代国家の展開 1. 日清・日露戦争と国際関係 2. 第一次世界大戦と日本 3. ワシントン体制 第14章 近代の産業と生活 1. 近代産業の発展 2. 近代文化の発達 3. 市民生活の変容と大衆文化									
2学期	第IV部 近代・現代			第15章 恐慌と第二次世界大戦 1. 恐慌の時代 2. 軍部の台頭 3. 第二次世界大戦 第16章 占領下の日本 1. 占領と改革 2. 冷戦の開始と講和 第17章 高度成長の時代 1. 55年体制 2. 経済復興から高度経済成長へ 第18章 激動する世界と日本 1. 経済大国への道 2. 冷戦の終結と日本社会の変容									
3学期													
評価													
評価の観点			評価の趣旨				評価対象						
							1学期末	2学期末	学年末				
①	知識・技能		教科書に登場する重要語句をインプットし、適切な場面でアウトプットできる。				○	○	○				
②	思考力・判断力・表現力		知識を関連付けて、文化・制度・事件・事象などを自分なりに解釈して説明できる。また、習得した知識と理解した概念を関連付けて、自分の考えを表現することができる。				○	○	○				
③	主体的に学びに向かう態度		教科書や資料集などを駆使しながら、インプットし、理解しよう理解しようと努力し協力することができる。				○	○	○				
評価方法	① 知識・技能			② 思考力・判断力・表現力			③ 主体的に学びに向かう態度						
	定期考査 75%			定期考査 50%			レポート 40%						

	レポート 25%	レポート 30%	相互評価 30%
		発表・グループワーク 20%	発表・まとめ 30%

令和6年度(2024年度) 年間授業計画表

学年	3	コース	特進 特進選抜	選択形態		文系選択		科目	世界史探究	単位	3
学習目標	社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。										
使用教科書	詳説 世界史探究 (山川出版社)		副教材	山川用語集 / 資料集 他				予定時間数	105		
単元と内容											
1学期	第13章 イギリスの優位と欧米国民国家の形成 第14章 アジア諸地域の動揺 第15章 帝国主義とアジアの民族運動 第16章 第一次世界大戦と世界の変容			1 ウィーン体制とヨーロッパの政治・社会の変動 2 列強体制の動揺とヨーロッパの再編成 3 アメリカ合衆国の発展 4 19世紀欧米文化の展開と市民文化の繁栄 1 西アジア地域の変容 2 南アジア・東南アジアの植民地化 3 東アジアの激動 1 第2次産業革命と帝国主義 2 列強の世界分割と列強体制の二分化 3 アジア諸国の変革と民族運動 1 第一次世界大戦とロシア革命 2 ヴェルサイユ体制下の欧米諸国 3 アジア・アフリカ地域の民族運動							
2学期	第17章 第二次世界大戦と新しい国家秩序の形成 第18章 冷戦と第三世界の台頭” 第19章 冷戦の終結と今日の世界			1 世界恐慌とヴェルサイユ体制の破壊 2 第二次世界大戦 3 新しい国際秩序の形成 1 冷戦の展開 2 第三世界の台頭とキューバ危機 3 冷戦体制の動揺 1 産業構造の変容 2 冷戦の終結 3 今日の世界 4 現代文明の諸相							
3学期											
評価											
評価の観点			評価の趣旨					評価対象			
								1学期末	2学期末	学年末	
①	知識・技能		教科書に登場する重要語句をインプットし、適切な場面でアウトプットできる。					○	○	○	
②	思考力・判断力・表現力		知識を関連付けて、文化・制度・事件・事象などを自分なりに解釈して説明できる。また、習得した知識と理解した概念を関連付けて、自分の考えを表現することが出来る。					○	○	○	
③	主体的に学びに向かう態度		教科書や資料集などを駆使しながらインプットし、理解しようと努力し協力することが出来る。					○	○	○	
			①			②			③		

評価方法	定期考査 75 % レポート 25 %	定期考査 50 % レポート 20 %	レポート 50 %
------	------------------------	------------------------	-----------

令和6年度(2024年度) 年間授業計画表									
学年	3	コース	特進 特進選抜	選択形態	理系選択	科目	地歴演習	単位	2
学習目標	地理探求の学習および1年次に学習した地理総合を並行して学習し、演習問題を反復することで、インプットした知識や概念を活用して自らの解釈や理解をもとにして解答を導き出すことを目指す。								
使用教科書	地理探究・地理総合 (二宮書店)		副教材	資料集 他			予定時間数	70	
単元と内容									
1学期	第1章 自然環境 ①地形 ②気候と生態系 ③世界各地の自然と生活 ④日本の自然環境と防災 ⑤地球環境問題 第2章 産業 ①農林水産業 ②資源・エネルギー ③工業 ④第3次産業 第3章 人・モノ・金のつながり ①交通・通信 ②貿易・観光			演習問題／該当項目の私大過去問 演習問題／該当項目の私大過去問 演習問題／該当項目の私大過去問					
2学期	第4章 人口と村落・都市 ①人口 ②村落・都市 第5章 文化と国家 ①生活文化と言語・宗教 ②国家とその領域 共通テスト形式 問題演習			演習問題／該当項目の私大過去問 演習問題／該当項目の私大過去問					
3学期									
評価									
評価の観点			評価の趣旨				評価対象		
							1学期末	2学期末	学年末
①	知識・技能		教科書に登場する重要語句をインプットし、適切な場面でアウトプットできる。				○	○	○
②	思考力・判断力・表現力		知識を関連付けて、文化・制度・事件・事象などを自分なりに解釈して説明できる。また、習得した知識と理解した概念を関連付けて、自分の考えを表現することが出来る。				○	○	○
③	主体的に学びに向かう態度		教科書や資料集などを駆使しながらインプットし、理解しようと努力し協力することが出来る。				○	○	○
評価方法	①			②			③		
	定期考査 75 % 問題集 25 %			定期考査 50 % 問題集 20 %			提出物 50%		

令和6年度(2024年度) 年間授業計画表											
学年	3	コース	特進 特進選抜	選択形態		文系選択		科目	地歴演習	単位	2
学習目標	世界史探究の学習に並行して、演習を反復することで、インプットした知識や概念を活用して自らの解釈や理解をもとにして解答を導き出すことを目指す。										
使用教科書	詳説 世界史探究 (山川出版社)		副教材	山川用語集 / 資料集 他			予定時間数	105			
単元と内容											
1学期	第13章 イギリスの優位と欧米国民国家の形成 第14章 アジア諸地域の動揺 第15章 帝国主義とアジアの民族運動 第16章 第一次世界大戦と世界の変容			演習問題/該当項目の私大過去問 演習問題/該当項目の私大過去問 演習問題/該当項目の私大過去問 演習問題/該当項目の私大過去問							
2学期	第17章 第二次世界大戦と新しい国家秩序の形成 第18章 冷戦と第三世界の台頭” 第19章 冷戦の終結と今日の世界 共通テスト形式 問題演習			演習問題/該当項目の私大過去問 演習問題/該当項目の私大過去問 演習問題/該当項目の私大過去問							
3学期											
評価											
評価の観点			評価の趣旨				評価対象				
							1学期末	2学期末	学年末		
①	知識・技能		教科書に登場する重要語句をインプットし、適切な場面でアウトプットできる。				○	○	○		
②	思考力・判断力・表現力		知識を関連付けて、文化・制度・事件・事象などを自分なりに解釈して説明できる。また、習得した知識と理解した概念を関連付けて、自分の考えを表現することが出来る。				○	○	○		
③	主体的に学びに向かう態度		教科書や資料集などを駆使しながらインプットし、理解しようと努力し協力することが出来る。				○	○	○		
評価方法	①			②			③				
	定期考査 75 % 問題集 25 %			定期考査 50 % 問題集 20 %			提出物 50%				

令和6年度(2024年度) 年間授業計画表											
学年	3	コース	特進選抜 特進Zコース 特進Sコース	選択形態		理系選択 文系選択		科目	公民演習	単位	2
学習目標	国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したこととの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養う。										
使用教科書	政治・経済 (数研出版)		副教材					予定時間数	70		
単元と内容											
1学期	第1章 現代の政治 第3節 日本の政治機構 第4節 政治参加と民主政治の課題			3 裁判所のしくみと人権保障 4 地方自治のしくみと住民生活 1 戦後政治と政党 2 選挙制度のしくみ 3 世論と情報化社会							
	第2章 現代の経済 第1節 経済活動の意義と経済体制 第2節 現代経済のしくみ			1 資本主義経済の発展と変容 2 経済活動の主体 1 市場経済のしくみ 2 国民所得と経済成長 3 金融のしくみと働き 4 財政のしくみと租税							
2学期	第3節 日本経済と福祉の向上 第1節 国際政治の動向 第2節 国際経済の動向 第3節 国際社会の課題と日本の役割			1 戦後日本経済のあゆみ 2 中小企業と農業・食料 3 公害防止と環境保全 4 消費者問題と消費者保護 5 労使関係と労働市場 6 少子高齢社会と社会保障 1 国際社会と国際法 2 国際社会の組織化 3 戦後国際政治の展開 1 貿易と国際収支 2 国際経済のしくみ 3 地域主義の動き 1 核兵器の廃絶と軍縮問題 2 地域紛争と人種・民族問題 3 地球環境と資源・エネルギー問題 4 発展途上国の経済と経済協力 5 日本の国際的地位と役割							
3学期											
評価											
評価の観点			評価の趣旨				評価対象				
							1学期末	2学期末	学年末		
①	知識・技能		選択・判断の手掛かりとなる概念や理論、及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解しているとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。				○	○	○		

②	思考力・判断力・表現力	現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論している。	○	○	○
③	主体的に学びに向かう態度	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、人間としての在り方生き方についての自覚や、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深めている。	○	○	○
評価方法	①		②		③
	定期考査 75 % レポート 25 %		定期考査 50 % レポート 20 %		レポート 50 %